

日本DPO協会第13回オンライン例会
「個人情報保護法に関する
情報収集、理解促進について」

2022年4月21日（木） 15:00～16:00

あいさつ「改正個人情報保護法広報への期待」

一般社団法人日本DPO協会代表理事

堀部 政男

（一橋大学名誉教授・元個人情報保護委員会委員長）

プログラム

- 1. 堀部政男 当協会代表理事 あいさつ
- 『改正個人情報保護法広報への期待』(5分)

- 2. 松浦大様 個人情報保護委員会事務局 広報室 上席政策調査員
- 林信光様 個人情報保護委員会事務局 広報室 上席政策調査員
- 『個人情報保護委員会ホームページ等の活用について』(30分)

- 3. 質疑応答 『改正法よろず相談タイム』 (25分)

個人情報保護委員会の「組織理念」と広報①

- 大幅に改正された個人情報保護法の2022年4月1日施行に合わせて委員会のホームページには、多種多彩な広報資料が掲載されている。その一つの丹野美絵子委員長とジャーナリストの福島敦子氏との特別対談は、分かりやすい。
- https://www.ppc.go.jp/news/conversation/kaiseihou_2203/
- 第13回オンライン例会の企画を立てた後の2022年3月30日、個人情報保護委員会は、「組織理念」を一部変更した。
- https://www.ppc.go.jp/files/pdf/220330_shiryuu-1.pdf
- 以前の組織理念(2019年2月5日)と比較すると、かなり変更されたと言える。
- 組織理念のタイトル―「個人情報を取り巻く環境変化に機敏に対応」⇒「人と社会の信頼の基礎を築くために」
- 6項目の見出しも4項目は、変更されている。
- 2022年3月30日の見出しは、次のとおりである。
- 「1 個人情報等をめぐる国内外の状況変化等に対する制度的な取組」
- 「2 個人情報の取扱状況等を的確に把握し機動的に対応する監視・監督」
- 「3 信頼性が確保された自由なデータ流通(DFFT)の推進をはじめとする戦略的取組」

個人情報保護委員会の「組織理念」と広報②

- 「4 特定個人情報の安心・安全の確保に向けた取組」(見出し変更なし)
- 「5 多様な主体に対する分かりやすい情報発信」(見出し変更なし)
- 「6 個人情報保護制度の司令塔としてふさわしい組織体制の整備」である
- 見出しに変更のないところも、本文は多少変更されている。
- 「5 多様な主体に対する分かりやすい情報発信」
 - 法の正しい理解の促進や個人が自らの個人情報等の保護や利活用についての認識や理解を高めるため、行政機関、地方公共団体、事業者等に加え、国民一人ひとりの多様な主体に対して広くタイムリーな情報発信を行います。その際、それぞれの主体が持つ課題やニーズに即した多様なアプローチにより、分かりやすい広報・啓発に取り組みます。

個人情報保護委員会の「組織理念」と広報③

- 「6 個人情報保護制度の司令塔としてふさわしい組織体制の整備」で「個人情報保護制度の司令塔」という表現は、重要な意味を持っていると言える。
- 高い専門的・技術的知見を蓄積しつつ、個人情報保護制度に関する企画立案、総合調整、監視・監督等の役割を適切に果たし、その実効性を確保するための体制強化を進めます。また、関係省庁や認定個人情報保護団体などをはじめとする関係機関とも緊密に連携協力していきます。さらに、委員会としても、情報セキュリティ対策を徹底します。

特定個人情報保護委員会の「組織理念」

- 特定個人情報保護委員会の組織理念
- 2014(平成 26)年6月5日に開催した第 18 回特定個人情報保護委員会において、組織理念を決定した。組織理念は、
 - ①国民の信頼を得るための特定個人情報保護評価、
 - ②特定個人情報の適正な取扱いを確保するための監視・監督、
 - ③多様な観点からの検討と分かりやすい情報発信、
 - ④国際的な動向を視野に入れた取組、
 - ⑤高い専門性を維持するための多様な人材の活用と育成の5つの項目から構成されており、委員長、委員及び事務局職員は、職務の遂行に当たって、これらを認識して取り組むこととした(図3:特定個人情報保護委員会の組織理念)。

<https://www.ppc.go.jp/files/pdf/141107houkoku.pdf>